

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 元年 10月 31日 (12:30 ~ 13:00)
1. 初期支援 (はじめのかかわり)	メンバー	小林・橋本・真木・利根川・深田 西村・室田・杉江

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	人	3人	3人	2人	8人

前回の改善計画

事前にカンファレンスや基本情報・アセスメントなどを準備したものを日々のミーティングで継続して情報を発信していきます。ご利用者の思いやご家族の思いについては、適宜、ミーティングで情報共有しているのもその思いに対して自分たちがどうして行くかを話し合い実行していきます。特に、新規利用時においては送迎時に分からないことや利用時の様子、合わせてご自宅での様子などを聴き取りながらご利用者が安心して利用できるように努めていきます。

前回の改善計画に対する取組み結果

新規利用者の基本情報・カンファレンスで得た情報をカルテに記載し職員で情報共有しています。利用者・家族の思いは職員が関わった際に得た情報をライフサポートプラン記録用紙に記載する事で、職員で情報共有を行っています。(12月から開始しました)

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?		5人	2人	1人	8人
② サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?		5人	2人	1人	8人
③ 本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	1人	7人			8人
④ 本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?		6人	1人	1人	8人

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ①②事前にアセスメントシートを確認して、詳細についてはケアマネージャーに確認しています。
②③④通い始めには新規利用者に声かけの意識を高く持ち接しています、その際に新たな気づきがあった場合はケアマネージャー、職員、家族へ報告して柔軟に対応しています。
②④送迎時に家族とお会いした際にお話をする事で情報の収集をしています。

できていない点

200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

- ①②情報共有で弱い面があります、シフト体制で全職員でのミーティングができない事もあり、現在、申し送りノートを活用しているが確認や理解が不十分に感じる時もあります。
①②③④新人職員が多く、利用者の情報把握が十分にできていません。
①②ケアマネージャーに情報確認しているが聴き取りが不十分なこともあります。
③認知症の症状が強い利用者の訴えや対応がわからない時があります。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

- ・新規利用者の基本情報の重要な事項をわかりやすく記載する事で、間違いがないケアの提供できるようにして新規利用者が安全安心に利用開始できるように取り組みます。
- ・職員が関わった際に「どのように対応することで、どのような反応があったか」を具体的にライフサポートプラン記録用紙に記入していきます、好事例や失敗事例を職員で共有する事で利用者個々に適した関わりをチームケアとして実行していきます。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 元年 10月 31日 (12:30 ~ 13:00)

2. 「～したい」の実現
(自己実現の尊重)

メンバー 小林・橋本・真木・利根川・深田
西村・室田・杉江

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	4人	2人	2人	8人

前回の改善計画	本人の思いについて大きな目標をそこにむけて進めていく段階的な短期目標について自分たちが何をケアしていくのかをミーティングで話し合うと同時に、これまで、振り返りとしてご利用者ができてきたことなどの共有が弱いため、取り組んだことに対してのご利用者の思いの変化や生活状況の変化についても共有していきます。
前回の改善計画に対する取組み結果	一部利用者から「したいこと」「やりたいこと」の聴き取りを行い、実現できることは実行しています。利用者の思いや職員の接した対応内容をライフサポートプラン記録用紙に記載して職員で情報共有しています。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?		2人	4人	2人	8人
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		3人	3人	2人	8人
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		2人	5人	1人	8人
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?		2人	4人	2人	8人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①②③スタッフ全員で利用者が「どうしたいか?」を聴き取り実現可能な事は取り組みました。 ②③利用者との関わりの中で「～したい」を聞けるよう意識して接しています。 ②③④利用者が新しく出来たことをミーティングで共有して自分が対応するときも参考にしています。 ②③④利用者の「どうしたいか?」を実現するために必要な生活リハビリを行っています。 ④利用者ができる家事手伝いを生活リハビリとして提供しています。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
①②利用者全員の「～したい」を把握してなく、目標に沿った関わりができていない利用者もいます。 ①②日々の介助支援で精一杯で目標達成等への支援ができない時があります。 ①②③④サービス計画の共有や振り返りが十分にできてなく、対応の変更があった際の共有ができていない時があります。 ④時間に余裕がない際は利用者が出来る事まで支援している時があります。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・利用者の夢(したい事)を聴き取り、その実現に向けたケアを実行していきます。 ・職員が関わった際に「どのように対応してどのような反応があったか」を具体的にライフサポートプラン記録用紙に記入していきます、好事例や失敗事例を職員で共有する事で利用者個々人に適した関わりを情報共有する事でチームケアとして実行していきます。 ・～したいの大きな目標に対して短期目標を共有しながら段階を得て達成できるようサービス計画書の内容を共有していきます。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 元年 10月 31日 (12:30 ~ 13:00)

3. 日常生活の支援

メンバー 小林・橋本・真木・利根川・深田
西村・室田・杉江

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	人	2人	5人	1人	8人

前回の改善計画

基本情報シートの作成 (更新) を利用者自身から聴き取り仕上げていくことで、これまで紙ベースの情報に頼っていたものを、利用者自身から聴くというスタイルに変えることで以前の暮らしのシートを職員全体で記入し更新していきます。

前回の改善計画に対する取組み結果

利用者から聴き取った情報を以前の暮らしのシートを職員で記入しています。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		2人	4人	2人	8人
② 本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	1人	5人	1人	1人	8人
③ ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?		2人	5人	1人	8人
④ 本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	1人	7人			8人
⑤ 共有された本人の気持ちや対象の変化に即時的に支援できていますか?	1人	5人	2人		8人

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

①②自宅でやっている家事 (お茶入れ・配膳・掃除等) を生活リハビリとして提供しています。
 ①③基本情報にないことは利用者との関わりの中から聴き取り基本情報に追記しています。
 ①③「本人の声を聴く」という事例研究を取り組み、スタッフで聴き取った事を実行しています。
 ②④⑤利用者の体調変化に柔軟に対応して主治医、福祉用具、家族と情報共有して必要な対応をしています。
 ④⑤利用者の体調変化があった際はミーティングを通してスタッフで共有しチームで対応しています。

できていない点

200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

②身体介助の研修、実務指導が十分にできていません。
 ③④⑤認知がある利用者本人からの聴き取りが充分にはできていません。
 ④⑤業務に追われて利用者の気持ちに沿った対応ができない時があります。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

事業所の中で生活リハビリや家事レクを通して、ご利用者自身が在宅での暮らしの継続が維持できるよう対応していきます。また、身体介護に伴う入浴・排泄などについては、統一した基本ケアの取り組みを活かし、ご自身で出来る部分の維持支援とプライバシーの配慮にあわせた対応を統一していきます。認知症の症状のある方に対してはケアの中での何気ない言葉を傾聴し経過記録に残しながら～したいの実現に向けた取り組みを実施していきます。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 元年 10月 31日 (12:30 ~ 13:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 小林・橋本・真木・利根川・深田
西村・室田・杉江

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	人	3人	4人	1人	8人

前回の改善計画	地域資源については、まず、どのようなものがあるかを職員全体が理解できるようにミーティングの時間を活用し共有していきます。また、事業所が利用者の暮らし全体を守るものではなく、暮らしの中のつなぎ役として、本来必要なサービスのあり方を見直し共有していくなかで利用者とのつながりのある社会資源を収集していきます。
前回の改善計画に対する取組み結果	社会資源(一部利用者)についての勉強会を6月に行いました。 江守中自治会と協力して祭りや花壇への花植え等に利用者と参加しました。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		4人	2人	2人	8人
② 本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?		4人	2人	2人	8人
③ 事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		3人	4人	1人	8人
④ 本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?			6人	2人	8人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①②③④地域住民への挨拶を行うことで利用者在宅時の見守り支援につながりました。 ①③④社会資源についての勉強会を6月に実施しました(一部利用者)。 ①③利用者に関わる中で利用者の生活スタイルの聴き取りをしています。 ②町内の行事(夏祭り・防災訓練)に参加しています。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
②③④利用者全員の地域資源や関係性についての把握できていません。 ③④自宅に居る際にどのように過ごしているかわからない利用者もいます。 ③④本人に適した地域資源がわからない利用者もいます。 ④地域民生委員まで把握できておらず関係作りができていません。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・スタッフ全員が送迎や訪問の際に同行する事で、利用者の自宅に行き、利用者がどのような環境で過ごしているかを見ることで、理解を高めるように組んでいきます。 ・利用者に必要な地域資源を洗い出してミーティングで共有して現状より1つでも多く活用していきます(ライサポートブ軒下マップ活用) ・週間サービス計画表を個別で準備しながらサービス利用時以外の過ごし方の聴き取りと書き込みを行い、共有していきます。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 元年 10月 31日 (12:30 ~ 13:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 小林・橋本・真木・利根川・深田
西村・室田・杉江

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	人	4人	3人	1人	8人

前回の改善計画

ご利用者との関わりにおいて、ご近所の方々とのつながりがあることは理解できているが具体的ななかかわりについてもう少し聞き取る必要がある。柔軟な対応においては、全て小規模多機能がしてくれるといった意識を変えながら少しでも社会資源を活用しながら対応できるようアプローチしたもののについてスタッフ全体で共有できるよう情報を発信していく。

前回の改善計画に対する取組み結果

利用者をご近所の交流の際はそちらを優先いただくよう対応しています。必要な支援は後から対応を行っています。本人、家族ができることはお願いするようにしております(送迎等)。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?		3人	5人		8人
② ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	1人	6人		1人	8人
③ 日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?		5人	3人		8人
④ その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?		7人		1人	8人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

①地域資源との関係作りをすすめており、協力いただける地域住民には見守り支援をお願いしています。
①利用者宅に地域住民が来た際は優先して交流いただいています。
②④利用者、家族からの要望に柔軟にサービスを組み合わせて対応しています。
③④利用者の様子が普段と異なる時はミーティングを通じてスタッフ共有しています。
③④申し送りノートを活用して利用者情報(変化)を共有しています。
③④送迎の際ご家族から情報聴き取り、申し送りノートを活用することでスタッフ共有しています。

できていない点 200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

①地域資源とは何かという点において共有されていない事があり自主的に地域資源という言葉が使えない。
②平日にお泊り要望があった際、シフト調整を行うが、体制が弱くなる事が継続して発生する場合はお断りすることがありました。
③④スタッフのシフト体制や勤続年数などに差があり、申し送りだけでは対応の統一が図れず、適宜口頭での伝達をしていても伝わっていないと感ずることがある。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・ライフサポートプラン記録用紙に利用者個人にに適した地域資源を記入して活用していくことで、現状よりも多く活用できるよう取り組みます。(軒下マップ)
- ・シフト体制を強化してお泊り要望に対応できるようにします。夜専職員の採用。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 元年 10月 31日 (12:30 ~ 13:00)

6. 連携・協働

メンバー 小林・橋本・真木・利根川・深田
西村・室田・杉江

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	人	3人	4人	1人	8人

前回の改善計画

これまで参加されてきたそれぞれの地域行事などを聴き取りながら、つながりのあるインフォーマルを活用し、イベント参加に向けてご家族と話し合いを行いながら進めていく。また、事業所に来訪しやすいように玄関に外玄関に展示コーナーを作成していく。

前回の改善計画に対する取組み結果

地域行事（福祉活動、避難訓練、祭り）にスタッフ、利用者と参加しています。
玄関に展示コーナーを作成して見学に来られた住民に写真を見ていただきながら案内しています。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか?		3人	1人	4人	8人
② 自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?		2人	2人	4人	8人
③ 地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか?		3人	2人	3人	8人
④ 登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?		2人	4人	2人	8人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

①②会議に参加出来ない際は電話等で情報提供、確認して書面で申し送りしています
③③地域の福祉活動（認知症サポーター養成講座等）地域活動（防災訓練、祭り）に参加しています
③④地域小学生やボランティアの受け入れして利用者と交流いただいています
③④トレーニングルームを地域住民に開放しています
④玄関の展示コーナーをスタッフと利用者で作成して掲示しています

できていない点 200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

③地域へ出かける回数が少なく地域との交流が充分ではない。ご利用者と友人での参加などは基本情報の聴き取りなどで確認はできているものの、個別での地域事情については介入できていない。
④玄関へのアプローチがまだ弱く、施設内に入りづらいハード面は改善できていません

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

地域に出かける取り組み（花壇のお世話等）を継続して実行できるように仕組みを考えて実行していきます。
トレーニングルームを利用されている地域住民と利用者の交流の場を設定していきます
トレーニングルームに、事業所の取り組みのポスターを提示し、ご利用者と地域住民の見える関係作りに努めていきます。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 元年 10月 31日 (12:30 ~ 13:00)

7. 運営

メンバー 小林・橋本・真木・利根川・深田
西村・室田・杉江

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組めましたか?	人	1人	6人	1人	8人

前回の改善計画	まず、拠点が地域との関係性が持てるよう地域に出かけ、地域貢献ができるよう計画を立てていく。地域貢献としては地域の草取りやゴミ拾いなど役割りのある内容を検討し、ご利用者主体で行動できるような仕組みを構築していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	地域公園の花壇にお花を植えたり、草むしりをしましたが水やり等の継続した活動はできませんでした。地域の防災訓練やお祭りに利用者と一緒に参加しました。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	1人	3人	3人	1人	8人
② 利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?		7人		1人	8人
③ 地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?		3人	4人	1人	8人
④ 地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?		2人	5人	1人	8人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
②利用者、家族からの意見、苦情、要望があった際は申し送りノートを活用して職員共有して柔軟に対応しています ④地域の花壇作り(花植え、草むしり)を行っています ④地域行事(夏祭り・防災訓練)に利用者、職員共に参加しています	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
③④地域行事への参加が限られています ③④利用者主体での地域活動参加の提供が充分にできていません ④地域夏祭りにおいては、担当ブロックの方と一緒に屋台などの準備の依頼をしましたが、準備内容が飲み物関係であり、高齢者の方には負担が大きくなるとのご心配を頂き、辞退させていただきました。ただ、地域の祭りに参加させていただいた折に、地域の方々から沢山お声をかけていただけました。今後、可能な限り地域行事の集会などには参加させて頂き協働できる関係作りをしていけたらと考えています。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・職員会議を定期的に行い、職員全員で利用者に適したケアを協議、意見交換する事でチームケアの質を高めていきます。 ・地域に日常的に外出する取り組みを職員、利用者で協議して実行していきます。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 元年 10月 31日 (12:30 ~ 13:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 小林・橋本・真木・利根川・深田
西村・室田・杉江

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	人	2人	5人	1人	8人

前回の改善計画	<p>研修案内については回覧されているため、適宜声掛けしながら参加を促していく。研修参加後においては、参加者より現場職員への勉強会を数回にわけて行うことで職員自身のスキル向上を目指していく。</p> <p>他、事業所での取組みにおいても内部で学んだ内容(実技含む)においては職員同士が伝達し合える時間をミーティングを活用しながら取り組んでいく。リスクマネジメントにおいて、ご利用者のできる部分と支援が必要な部分の見直しを共有していくために、ご利用者の情報共有(帳票)を全員で更新していく。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>職場内研修(10の基本ケア、虐待研修)には全員参加しています。研修で学んだことの実践は途中段階でして、部分的にしか実行できていません。リスクマネジメントに関してはライフサポートプラン記録用紙に利用者の言動や職員の対応方法を記入して情報共有することで利用者に適した対応を共有していく取り組みを始めました。</p>

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか		5人	2人	1人	8人
② 資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか		2人	4人	2人	8人
③ 地域連絡会に参加していますか		2人	1人	5人	8人
④ リスクマネジメントに取り組んでいますか		4人	4人		8人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>①②職場内研修(10の基本ケア・虐待研修)に全員参加しています。</p> <p>①②④リスクマネジメントの学習会に全員参加しています。</p> <p>④事故やヒヤリハットがあった際は事例検討会議を行い、再発防止策を協議し共有しています。</p> <p>地域ケア会議に参加していきました。</p> <p>④ライフサポートプラン記録用紙に利用者の言動や職員の対応を記入して情報共有を行っています。</p>	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>①研修で学んだことを正確に実行できていない事があります。</p> <p>③地域連絡会への参加が一部職員に限定されています。</p> <p>④外部事業所の事故事例の情報発信が不十分です。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・ライフサポートプラン記録用紙の記入と確認をスタッフ全員が実行していく事で好事例、失敗事例を共有してリスクを減らしていきます。 ・地域連絡会に出席して地域と協調して地域活動に参加します。 ・地域連絡会で得た情報を掲示して、スタッフで情報共有を行います。 ・職場内研修(10の基本ケア)が正確に実行できるように事業所内での学習会を行います。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 元年 10月 31日 (12:30 ~ 13:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 小林・橋本・真木・利根川・深田
西村・室田・杉江

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	1人	6人	1人	人	8人

前回の改善計画	余裕をもってご利用者に関われるように、業務の整理を行い、無駄なもの、ご利用者の出来る部分を職員がしているものなどを見直していきます。
前回の改善計画に対する取組み結果	事業所内の福祉用具や資料の整理整頓を実行して業務に円滑に入れるようにしました。 連絡帳準備や洗濯物たたみや食事の盛り付けは利用者にしていただき、業務の効率化をおこなっています。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 身体拘束をしていない	6人	2人			8人
② 虐待は行われていない	5人	3人			8人
③ プライバシーが守られている	1人	7人			8人
④ 必要な方に成年後見制度を活用している		4人	1人	3人	8人
⑤ 適正な個人情報の管理ができています		6人	2人		8人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①利用者とは接した際に利用者自身で出来る事を見つけて、チームで提供する事で以前より出来る事が増えています。 ①きらめき利用時には利用者毎に役割（連絡帳準備、食事盛り付け等）を提供しています。 ①③身体介助（入浴・排泄時）が必要な利用者を介助する際は、先輩職員が新人職員に指導を行い理解する事で利用者個々に適したチームケアを行っています。 ⑤カルテは定められた場所（事務所ロッカー）に保管して施錠管理しています。 ⑤個人情報を書いてある資料を処分する際はシュレッダー処理しています。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
⑤連絡帳を書く際に、利用者に関りながら記入しておりバイタル情報等が他利用者に見られる時もあります。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・職員に「使用した物は定められた場所に戻す」「古い情報は処分する」といった整理整頓を実行いただき、チームケアの意識を現状より高めてることで円滑な業務ができるよう取り組んでいきます。 ・身体拘束への意識は高く持っていますが、「言葉による拘束」の意識を高く持ってくださいよう取り組んでいきます。	